

Classic Nagoya
クラシック名古屋
T460-0024
名古屋市中区正木西四丁目8番7号れんが橋1F
TEL(052)678-5310 FAX(052)678-5330
http://clanago.com

プレイガイド
アイチケット
0570-00-5310

ナゴヤ劇場ジャーナル

◆発行/マネージメント・プロ ◆編集/プランニングオフィス白壁 ◆協賛/クラシック名古屋

MP MANAGEMENT PRO
業務内容
①舞台イベントの企画・制作・マネージメント
②芸術コンサルティング
③タレントのマネージメント
④ナゴヤ劇場ジャーナルの発行

株式会社マネージメント・プロ
〒464-0850 愛知県名古屋市中区今池1-14-11 CASA LUZ302
TEL.052-735-3151 FAX.052-735-3152
E-mail: mpoffice@pa2.so-net.ne.jp

小椋佳ミュージカル「ポン太」

かやの木芸術舞踊学園が記念公演

1月11日 愛知県芸術劇場大ホール



かやの木芸術舞踊学園「ポン太」

全国の舞踊コンテストで屈指の実力と実績を誇る「かやの木芸術舞踊学園(木原創学園長)が、2016年1月11日(午後0時30分、午後5時の2回)愛知県芸術劇場大ホールで小椋佳作曲によるミュージカル「ポン太」を上演する。

歌にせりふ、得意のダンスに和太鼓の合奏を組み合わせ、かやのき独自のミュージカル作品で総勢1000人が出演する。

脚本は佐藤万里、演出、振付は木原創。1997年(初演)以来の上演になる。



「月夜に煌めくエトワール」

オペラ座の名手、音楽ホールで舞う

1月13日、芸術劇場で演奏とコラボ

愛知県芸術劇場では1月13日(午後7時)同コンサートホールでダンスと音楽の饗宴「月夜に煌めくエトワール」を開催する。

ダンサーはパリ・オペラ座バレエのエトワール・エルヴェ・モロー、ドロテ・シルベール、マチュー・ガニオーの3人。演奏はメキシコの新星ピアニスト、ジュルジュ・ヴィラドムストと2009年ハノーファー国際コンクールで優勝したバイオリニストの三浦文彰。

プログラムは「瀕死の白鳥」「月の光」、日本初演の「LUNA」トリスタンとイゾルデ、世界初演の「ツクヨミ」ほか。演奏は単独でポンセの「メキシカン・バラード」(ヴィラドムスト)、イザイの「無伴奏バイオリンソナタ第三番」(三浦)ほか。

全指定SS席1万2000円、S席1万、A席6500円、B席4500円、学生席3000円。TEL052(971)5609。

大衆演劇界のプリンス門戸竜二、北文化小劇場に来演

「本花道のある北文化小劇場の機能をフル活用し、名古屋の皆さんに、東西の大劇場に劣らぬ立派な舞台をお見せしたい」大衆演劇界のニュー・プリンス、門戸竜二(もんど・りゅうじ)1969年、大阪府出身が、2016年2月23-25日(全3回)名古屋北文化小劇場に来演。門戸竜二奮闘公演を行う。

2月23-25日「奮闘公演」



美男、美女
変幻自在の変身ぶりで
魅了する門戸竜二

松井誠の主催する劇団誠に参加。独立後の11年にはシングルCD「夢路をリリース。同年から門戸竜二奮闘公演をスタートさせた。

トップスターとの共演(15年)らの座長公演に出

多い。名古屋の御園座では前川清(12年)、松平健・川中美幸(13年)、中日劇場では細川たかし(13年)、梅沢登美男(14年)、前川清・藤あや子(15年)らの座長公演に出

演している。

北文化小劇場での奮闘公演は4年連続4回目。「お芝居は大衆演劇特有の『口立て芝居』ではなく、一流の演出家の下で古典名作に取り組みた

い」と熱く語る門戸。今回は第一部に山本周五郎原作の「泥棒と若殿」人情めし吹き物語(脚本、演出・小島和馬)を上演。第二部「華麗なる舞踊ショー」では得意の歌と早変わり。さっそうたる二枚目振り、憐(かれん)で清純な女形舞踊で観客を魅了する。

門戸は6年前から養護施設の子供達と共にチャリティー公演を実施。その収益を施設に寄附している。門戸竜二は本名、「幼くして別れた母に、どこかで気付いてほしい」の思いがこもる。

全指定席3000円。TEL052(910)3366、北文化小劇場。

シャンソンの扉

クララ・カントーレ



「エルム」の聴衆を魅了したクララ

「グラシエラ・スサーナ以来の逸材」「音楽的にはスサーナ以上」と洋楽ファンを興奮させたのは、10月10-12日、福島の川俣町で開催されたフォルクローレ音楽祭「コスキン・エン・ハボン」にゲスト出演したクララ・カントーレだ。

アルゼンチンの歌姫 初来日のステージで聴衆のハートをゲット

1988年アルゼンチン生まれ、今回が初来日

「エルム」は私が生まれ育ったコルドバに少し似ています。皆さんにとっても温かく迎えていただき感謝です。スサーナのように、日本で有名になることができていくといい。私の歌が気に入ってくれるリスナーが一人でもいれればうれしい」(上野)



演奏会・発表会・ステージ等カラードレス・アクセサリ専門店

になる。2013年、アルゼンチン最大のフォルクローレ・フェスティバルで優勝。翌年アルバム「セ

フランス国営TVが取上げた「理想のシャンソン空間」。喧騒の街から逃れ、心静かに味わい深い歌を聴きながら、オリジナル・ワインとシャンソンに酔いしれる...

Cafe Concert **エルム** X'mas LIVE

12/2-wed 菅原洋一	12/17-thu 高崎啓子 (共演: 納山遊美)	12/18-fri れ・ミュージ ~陣山代子・岩城謙子・青山桂子~	12/24-thu 清水美帆
------------------	---------------------------------	---	-------------------

OPEN 19:00 月曜~土曜および祝日、営業 START 19:30 20:30 *各40分、入場なし

TEL 052-733-0085 mail / mail@chanson-japanaise.com
名古屋市中区吹上2-4-5 / 地下鉄桜通「吹上駅」5番出口徒歩約7分

推奨公演

音楽

山田耕作を歌う 12月22日(午前11時30分) 宗次ホール。

「命と平和」をテーマに、近代日本の楽曲を歌う貞平(名古屋二期会)が、山田の没後50周年を記念し、「この道」(詞・北原白秋)、「赤トンボ」(詞・三木露風)、「ペイチカ」(詞・北原白秋)ほかを山下勝のピアノで歌う。

全自由席1000円。TEL052(9380)5416。

音楽物語「スノーホワイト」白雪姫と恋するタヌキ 12月23(午後2時30分、5時) 24日(午後2時30分、6時30分) 長久手・芸術館菩提樹。

脚本とバイオリン・横田真規子、作曲・小塚憲二、演出と出演・末吉康治、歌と朗読・みやちともこほか。

中学生以上2800円、小学生以下1400円。

舞踊

三代舞踊団「クリスマス定期公演」 12月20日(午前11時、午後3時) アートピアホール。

25回目になる人気公演。今年は三代の母校・中央大学の軽音楽部(ビッグ・ジャズ・バンド)とシンガーの大塚年代が参加。ジャズとダンスの熱いセッションを繰り広げる。

全指定席4000、3500、3000円(当日は各500円増し)。TEL052(973)4188。

スヴェング、驚異のハーモニカ

1月23日 芸術劇場で来日公演



名古屋で初公演を行うスヴェング

驚異のハーモニカ・カレル・ツェイト「スヴェング」がフィンランドから来日。1月23日(午後3時)芸術劇場大ホールで名古屋地区初の公演を行う。

力愛好家も度胆を抜かれるに違いない。彼らを使うのは、メロディを奏でるダイアトニック、クロマチック、和

音を受け持つハーモネット、低音部を支えるベース。ハーモニカ以外の楽器は一切使用しない。

スヴェングの結成は2003年。ヨーロッパ各国、米国でツアーを展開し、07年には世界最大のワールドミュージック・ショーケースにフィンランド代表として出演。10年にはフランスで開催されたラ・フォル・ジュルネ音楽祭でショパンの「英雄ポロネーズ」を演奏し絶賛された。

日本での演奏は07、08、10、12年に次いで5度目。名古屋での公演は初。演奏曲(予定)は「フィンランドディア」「英雄ポロネーズ」「ハウルの動く城」「赤とんぼ」ほか。オーディオン奏者の桑山哲也が賛助出演する。

全指定S席5500円、A席5000円。TEL052(951)5391 MINION。

DansKate ダンスケイト logo and contact information: http://danskate.com, TEL 052-265-7900.

円。TEL090(7020)1535。コトヤマ・オトヤマユニット「妄想会議コンサート」 12月25日(午後

2時、7時) 26日(午後2時) 千種文化小劇場。サクソフォンの所克頼、竹内幸枝、朗読の白樺八重が醸し出す幽玄の

世界。朗読作品は谷川俊太郎「詩集」、宮沢賢治「よだかの星」、太宰治「女の決闘」ほか。演奏曲はドボルザーク「母の教え

給ひし歌」、パッパ「ゴルトベルク変奏曲」ほか。全自由席3000円。TEL090(7915)5896。

TBCが12月17日 芸術劇場で深川秀夫版「コッペリア」

塚本洋子テアトル・ド・バレエカンパニーが12月17日(午後6時30分)芸術劇場大ホールで深川秀夫演出、振付の「コッペリア」を上演する。河合尚市指揮、セントラル愛知交響楽団の生演奏が付く。

スワニルダにはエース畑戸利江子、フランツには西岡憲吾(京都バレエ団)、コッペリアに深川秀夫。全指定席1万円、8000円、6000円、3000円。TEL052(723)1927。

演劇補助席



竹元まき子「曾根崎心中」

朗読からのぞいた底なしの深淵

(10月14日・芸文小ホール) (清水義和)

りをはやらせた。竹元は独自の朗読スタイルで、猥雑な阿国や念仏踊りの土俗を醸し出した。

竹元は徳兵衛とお初の性の葛藤や、徳兵衛と九平次の金銭争いをモノローグで語るから対話も対立もない。まるでハムレットの独白を聴いているようだ。

調べだけを聴いていると声が残韻として残り、徳兵衛とお初の恋の諍いや九平次との利害争いも消え、音だけに還元されて響いた。

一宮市の「ダンスファクトリー」が、10月18日、東京・博品館劇場で開催された「第2回座間全国ミュージカルコンクール(ショー・ストーリー部門)」で1位2位を獲得した。

1位になったのはジュニア・ミュージカルクラス6人の「アニー」、2位はキッズ・ミュージカルクラス6人の「ドレミのうた」。振付の早川玲美が指導者賞を受賞した。

かやの木芸術舞踊団結成 創立45周年記念 『ポン太』 小椋佳 音楽・和太鼓ミュージカル 国の児童文化財推薦作品 2016年1月11日(祝・月) 愛知県芸術劇場 大ホール

舞台批評 名古屋二期会 「宗春」 シェイクスピア引用した秀逸戯曲 麻創けい子、作曲・中田直宏、演出・西川右近

結局、宗春は戦ではなく領民の幸せを選ぶ。將軍から隠居謹慎を申し付けられるが「この身は幽閉されても、その理念は大きく自由を羽ばたくのだ」と自身を納得させるのである。

「くるみ割り人形」全幕と、「ジゼル」全幕を2日間に渡り上演!!

Nutterack 「ジゼル」全幕 Giselle

「くるみ割り人形」全幕

12.12 sat
open 17:30 start 18:00

「ジゼル」全幕

12.13 sun
open 17:30 start 18:00

豊田市民文化会館 [大ホール]
豊田市小坂町12-100 Tel.0565-33-7111

入場料 (全席指定)
1日券 ¥3,000、2日間セット ¥5,000
※13日「ジゼル」は3歳未満入場不可となります。

[チケット取扱い]
神谷久美子バレエスクール・豊田市民文化会館
チケットぴあ (Pコード 446-898)

Special guest



宮尾俊太郎
(Kバレエカンパニー)
13日のみ出演



碓氷悠太
(松岡伶子バレエ団)
12日、13日両日出演



高宮直秀
(Dance Company Unicorn)
12日、13日両日出演



市橋万樹
(松岡伶子バレエ団)
12日、13日両日出演



梶田眞嗣
(Goh Ballet Company)
12日、13日両日出演

Kumiko.Cherry Ballet Company
〒471-0035 愛知県豊田市小坂町14-24-1 Tel.0565-36-0231
http://www.k-kumiko.com/

主催 / Kumiko.Cherry ballet Company・神谷久美子バレエスクール
後援 / 愛知県・豊田市・豊田市教育委員会 (公財) 豊田市文化振興財団・中日新聞社

生々しさと演劇性で神々を描写

JUNKO

歴史上の女性たちの断片を、現代舞踊の福田純子が体現するシリーズ3作目「古事記」神話の中の「女たち」(10月9日・千種文化小劇場)。音楽・舞踊・朗読のコラボレーションで、福田のほか、いのこ福代(語り)伊藤茉友紀(舞踊)、竹田和子(箏)ら6人が共演した。



福田 純子

「混沌」から「ミヤスヒメ」までの全三章。「混沌」は野々村明子の振付で、もがき苦しみながらこの世に誕生する神の姿を描出。劇中最も印象的なシーンになった。

た。音楽は箏(2人)、バイオリン、鳴物の生演奏に、既存の曲がバランスよく混在。特に今回は正確で濁りのない箏の音色が印象的だった。福田は恵まれた容姿と、腰近くまで伸びた長い髪を有効に活用し、パレリーナには表現できない「生々しさと演劇性」を体現。現代舞踊ならではの、人間味あふれるステージを構築した。むしろ、いのこの語りがあったのが名舞台である。

鏡花の幻想世界、再演で鮮明に

ステップ・ワークス

1作目「源氏物語」2作目「万葉集」と同様の構成で、女性たちの境遇や心情を、いのこが語り、福田が見せる。福田を含め、4人の振付者が参加しているのも特徴。多くの舞台人が、総力を結集

交錯する過去と現在、現実と幻想。現在に伝わる民話、童話の源に触れた気がした。後藤千花ステップ・ワークスの創作バレエ美女ヶ原(台本、演出・伊豫田静弘、振付・



ステップ・ワークス「美女ヶ原」



ゆうこ♡バレエ「くるみ割り人形」

泉鏡花の「菓草取」を題材にした舞踊劇。主人公の青年(黄凱II東京シテイバレエ団)が魔界で体験する摩訶(まか)不思議な物語。2011年の初演作を、大幅に手直ししての再演である。

薬草を求め霊山に入り込んだ青年が20年前の自分に出会う。二つの時代、二つのドラマが同時進行し、観客を幻想世界へと誘う。青年は恋人のために、少年は母のために危険を冒す。二つのドラマに共通するのは「一人を思う心」である。ステップ・ワークス公演では常に主役を演じて

子供の視線で「くるみ」を再構築

命が会場にあふれた。ゆうこ♡バレエスタジオ(主宰・吉見優子)の20

来た後藤だが、今作はドラマの一部に徹した感がある。それができるのも力量があるからで、後藤への評価が揺らぐものではない。「ジゼル」を連想させる振付には少女違和感があつたが、初演時より見やすく、鏡花の世界に遊ぶことができた。それは私自身が年を取ったからだろうか。

(茂)

後半の「お菓子の国」で、クララと王子を舞台

予習をと思って探したがCDもLPも自宅にはなく、興味津々で出かけた。初めて聴くその

スパークの難曲ダイナミックに

名古屋音楽大学

晴れやかな高揚感あふれる学生の演奏に、心を洗われた気がする。名古屋音楽大学の創立50周年記念「シンフォニックウィンド定期演奏会」(10月23日・芸術劇場コンサートホール)の二写真

エウロ・リリカ



エウロ・リリカの公演には、いつも新たな発見や喜びがある。名古屋芸術創造センターと共催した今回はジュール・マズネ(フランス)作曲のオペラ「タイス」(ハイライト版)だ。

魅力的な娼婦タイス(伊藤晴)と、修道士アタナエル(岡本茂朗)の生きざまと信仰を描いた作

品。私は初見だったが、ストリングスとフルートが織りなす美しい音楽と多彩な舞踊を取り込んだ演出に魅了された。劇中に演奏された曲は幾度も聴いたことのある名曲だった。「そうか、このオペラの曲だったのか」とうれしくなった。「タイスの瞑想曲」だ。今公演では「タイス」のほか「カルメン」(ハイライト版)や、マズネ作曲

の難曲。果たして名音の金管奏者は素晴らしい演奏を披露した。特にホルン、トランペットは秀逸で、フォルテシモに音が割れることもなく冷静に、バランス良く音楽を管理したが、実はこの曲、金管泣かせと言われる難曲中大生の演奏である。

指導と指揮はユーフォニアム奏者で同大准教授の露木薫。カーテンコールには総勢120人のメンバーが総出演し、フィリップが東日本大震災に際して発表した「陽はまた昇る」などを合奏。はち切ればかりの熱気で聴衆を包んだ。

間奏曲

中央の後方に座らせた。そのためディヴェルティスマンのダンスが重なり見栄えを損なった。幼児ジュニアが生徒の大半を占めるバレエ団だけに、彼らが成長するに従い目指す方向性も変わるだろう。楽しみなバレエ団であることは間違いない。

チャイコフスキーの「ピアノ協奏曲」と言えは、まず第一番のこと。1番と呼ぶからには2番もあるはずだ。その珍しい2番をロイヤル・コンセルトヘボウとユジャ・ワンの協演で聴いた。

曲は、特に第2楽章が気に入った。哀愁を帯びたメロディーでバイオリン、チェロの独奏もあって、ピアノトリオの雰囲気も。終楽章は一転、明るい軽快なリズムで体が弾んだ。

そりゃ、1番のほうが雄大な魅力に満ちた名曲だが、たまには2番も悪くないと思っ

協奏曲、埋もれた作品も悪くない

た。1番があまりにも有名になったため、埋もれてしまったのだろう。ベートーヴェンも「第5番・皇帝のせい」で「第4番」はあまり演奏されない。ラフマニョフは「第2番」がダントツ人気で、他の3曲は埋もれた状態。私も2番が最高傑作だと思っ。しかし作曲家にとっっては同じくわが子。たまには他の兄弟にも注目してやりたい。

(上原宏)

会員募集

「ナゴヤ劇場ジャーナル」では発行をご支援いただけるサポート会員を募集しています。会費は年間6480円(税込)です。会員には小紙を毎月お届けするほか、紙面にお名前を掲載(希望者のみ)。会員の関係する公演、イベント情報を優先的に掲載させていただきます。

お申し込み、お問い合わせは(株)マネージメント・プロパティ(735)3151。

郵便振替口座00880-06-2061300。

- 私たちは「ナゴヤ劇場ジャーナル」を応援します
- | | | |
|-------|--------|-------|
| 青山 忠生 | 岡崎 保彦 | 戸田美江子 |
| 秋田巳喜子 | 小倉ひろこ | 中川 幸作 |
| 阿久津紀子 | 越智 實 | 仲条 優理 |
| 浅井 道雄 | 小野由加利 | 夏目 久子 |
| 荒川 洋子 | 加藤 静子 | 名鶴ひとみ |
| 出田 光代 | 金澤 志保 | 西川 長秀 |
| 伊藤 敬 | かしまきのり | 野々山保治 |
| 稲垣 舞比 | 蟹江 尾八 | 野村 祐子 |
| 井上 初子 | 小池 真琴 | 服部 節子 |
| 齋 千龍 | 小島 俊男 | 服部はる江 |
| 内田寿千代 | 神原菜生未 | 林 雅仁 |
| 内田 寿典 | 佐藤美智子 | 瀧本晴都子 |
| 内田 寿晴 | 澤脇 達晴 | 松下 奈央 |
| 内田 寿哉 | 島田 倫子 | 松本 道子 |
| 内田りり | 白樺 八青 | 見波 紀子 |
| 内田りり | 瑞鳳 澄依 | みやちこ |
| 内田りり | 鈴木 文雄 | 富西 圭子 |
| 内田りり | 角田真優美 | 山口 雅子 |
| 内田の美知 | 武市 孝三 | 吉見 鹿子 |
| 大島 明子 | 竹元まき子 | よしみゆこ |
| 大寺 資二 | 玉田 弘子 | 渡部 千枝 |
| 岡田 一男 | つづみあつき | ほか43名 |
| 岡田 純奈 | 手塚 淑子 | |
- 和光写真/神谷久美子バレエスクール/楠テス・大阪/Hide Dance Lab.
 (有)ビデオ教映社/演劇集団キャラメルボックス/NORIKO BALLET STUDIO
 松岡伶子バレエ団/かやの木芸術舞踊学園/春日井市日本舞踊協会
 特定非営利活動法人日本室内楽アカデミー 理事長 佐々木伊利子
 フィルハーモニカー・ウィーン・名古屋/明珠会 山村榮乃



ウィーン・リング・アンサンブル ニューイヤー・コンサート 2016

【エドゥアルト・シュトラウス没後100年記念/シュトラウス・ファミリー・プログラム】
 J.シュトラウスII:オペレッタ(こもり)序曲
 J.シュトラウスI:ホルカ「アリス」
 J.シュトラウスII:ワルツ「ウィーンの森の物語」
 エドゥアルト・シュトラウス:ホルカ「シュネル」
 ヨーゼフ・シュトラウス:ワルツ「水影画」
 J.シュトラウスII:中国人のギョロップ

J.シュトラウスII:オペレッタ(ヴェネツィアの一夜)メドレー
 ヨーゼフ・シュトラウス:ホルカ「シュネル」
 エドゥアルト・シュトラウス:ワルツ「オーストリアの人々」
 J.シュトラウスII:ワルツ「ウィーン気分」
 エドゥアルト・シュトラウス:ホルカ「連弾師で」

2016年 1月5日(火) 愛知県芸術劇場コンサートホール

18:45開演(18:00開場) S ¥8,000 A ¥6,000 B ¥4,000 C ¥2,000(全席指定)

主催: 元レディ 協力: クラシック名古屋

お問い合わせ: テレビ愛知事業部 052-243-8600 クラシック名古屋 052-678-5310

プレイガイド: アイ・チケット 0570-00-5310

碧海信用金庫 Presents

Mariko Senju Violin 千住真理子

2016 1月14日(木) 愛知県芸術劇場コンサートホール

スメタナ: わが祖国より「モルダウ」
 メンデルスゾーン: ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 (ヴァイオリン: 千住真理子)
 ドヴォルザーク: 交響曲 第9番 ホ短調 「新世界より」

2016年 1月14日(木) 愛知県芸術劇場コンサートホール

S ¥13,000 A ¥10,000 B ¥8,000 C ¥6,000(全席指定)

主催: 元レディ 協賛: 碧海信用金庫 協力: クラシック名古屋

お問い合わせ: テレビ愛知事業部 052-243-8600 クラシック名古屋 052-678-5310

上原宏の ☆音楽☆ 聴き歩き



名フィルの打楽器奏者、窪田健志が率いる「ぼった打楽器四重奏団」が、名古屋で初の演奏会

シベリウス生誕150年にしては、その作品があまり演奏されないと思っていた。バイオリンの澤田幸江はフィンランドに留学し、今も同国と縁が深い。全曲シベリウスで開いたリサイタル(11月6日・電気文化会館)＝写真＝はさすがが中身の濃いものだった。何度か共演したピアノ

シベリウスへの思い入れたっぷり
澤田 幸江

ウス自身のピアノ伴奏版で、澤田は気迫に満ちた渾身の演奏で魅了した。オーケストラ版とはかなり違う雰囲気だが、ラウティオのシンフォニックな響きと合い、確かな音楽を構築した。シベリウスに対する思い入れには共感できるが、その気持が前面に出て、つい力が入りすぎたようだ。余分な力が抜ければ、もっとさわやかな北歐の風が感じられたと思う。

タイムやアンダーソン「シンコペイテッド・クロック」など、おなじみの曲が楽しかった。

打楽器奏者が主体のコンサートは、名古屋ではまだ少ない。窪田は積極的な活動で、名古屋の音楽界に新風を吹き込んでくれた。

至れり尽くせりの音楽とステージ
Quadricks

メンバーの安田直美、足利真貴、毛利美奈子、村松由理は個々に活動しており、ソプラノでも声の質はさまざま。その声に合ったベッリーニ、ドニゼッティ、モーツァルトなど多彩なアリア10曲を歌い上げた。

ソプラノ小林史子が企画・構成、指導する4人のソプラノグループ Quadricks

自らソプラノの現役実力者である小林、そのトークも含め、企画者の意欲を強く感じたコンサートだった。

KOBUDO 一式 三味線
cuisine de classic

2016年 12月25日(日) 13:30開演 14:00開演

Violin Joint Recital

2016 1.11(日) しらかりホール

ふたりの歌謡ショウ

2016年 12月25日(日) 13:30開演 14:00開演

ふたりの歌謡ショウ

2016年 12月25日(日) 13:30開演 14:00開演

ニューイヤー・コンサート2016

ウィーン・フォルダスオーパー 交響楽団

2016.1.10(日)

Violin Joint Recital

2016 1.11(日) しらかりホール

奏でる人を聴きたい人へ 人と音を結ぶ

クラシック名古屋 052-678-5310

名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル1F

クラシックコンサートのチケットは アイ・チケット 0570-00-5310 (10:00~17:00 ※日祝休み)

アイ・チケット web 検索

クラシック名古屋のプレイガイド「アイ・チケット」

多くのクラシックコンサートのチケット販売から、ホール、座席のこままでオペレーターが丁寧に対応いたします。